



平成31年 新年ごあいさつ

県土整備部長 福士 祐治

平成30年の年頭に当たり、謹んで新年のあいさつを申し上げます。

旧年中は、県土整備行政の推進につきまして、皆様から格別の御理解と御支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

青森県では、生活創造社会の実現、人口減少の克服のため、若者・女性の県内定着の促進、交流人口の拡大、県産品のブランド価値向上や販路拡大などに中長期的な視点で取り組んできたところです。

本年4月から新たにスタートする「青森県基本計画『選ばれる青森』への挑戦」においても、これらの取組を積極果敢に展開し、様々な分野で「選ばれる青森県」の実現に向け、全庁一丸となって各種施策を展開することとしています。

県土整備部においても、生活創造社会を実現させるため、「県民本位の県土整備行政の推進」を目標として掲げ、「災害に強い安全・安心な県土の整備」、「産業・交流・雇用を支える基盤の整備及び活用」、「安心して快適に暮らせる生活空間の整備」、「創造性のある県土の整備」を引き続き重点的に推進して参ります。

中でも、「災害に強い県土づくり」を次期基本計画においても県土整備部の最大の使命と位置付け、全国的に相次ぐ大雨や地震などの大規模な自然災害から県民の皆様の尊い生命と財産を守るため、「防災公共」の理念に基づくハード・ソフト一体での対策を推進するとともに、国による「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」を確実に実施して参ります。

また、県政の最重要課題と位置付けられている人口減少の克服に向けて、「経済を回す」仕組みづくりや、「選ばれる青森県」を

実現していくためには、地域の産業を支え、交流・物流の基盤となるインフラ整備が必要不可欠です。

スピード輸送と保冷一貫輸送を備えた県独自の流通サービス「エー・プレミアム」の更なる活用やインバウンド誘致など、産業・観光の振興をより一層図るため、主要幹線道路ネットワークの整備や物流拠点となる港湾機能の強化等を国とともに着実かつ強力で推進して参ります。

さらに、建設産業は、インフラ施設の維持管理や除雪・災害対応など地域の守り手として欠かすことのできない存在であり、持続的な発展を図っていく必要があります。

次世代の担い手確保や経営基盤強化に向け、早期発注による工事の平準化や週休二日制、ICTの活用等を積極的に進めるとともに、建設産業のやりがい・魅力を発信するなど、女性をはじめとする多様な人財が活躍できる環境づくりのため、官民一体の働き方改革に取り組んで参ります。

新年も引き続き、安全・安心な県土づくりと、産業・交流・雇用を支える県土づくりを推進して参りますので、皆様の御理解と御協力をお願い申し上げます。